スポンサーシップ便り NO.16　　2017年11月号

助成金贈呈式並びに合同活動報告会　（SI釧路アミティ）

8月23日、ANAクラウンプラザホテル釧路に於いてシグマ・S助成金贈呈式並びに合同活動報告会を開催しました。**釧路公立大学、釧路工業高等専門学校 科学ボランティア部のシグマ・ソサエティ2校、北海道釧路東高等学校、北海道釧路江南高等学校 吹奏楽部、北海道釧路湖陵高等学校 合唱部の“S”クラブ3校**（参加人数13名）に助成金を贈呈いたしました。続いて各学校の活動報告を発表していただき、それぞれの特徴ある活動報告は、ボランティアの幅の広さと活動の意義を感じとる事ができました。学生一人一人が、ボランティアに関わっていることに喜びを感じ、活動資金を有意義に活用したいと報告いただきました。

釧路新聞　平成29年(2017年)8月27日（日曜日）

奉仕活動などに助成金

釧路アミティ　5校1年間の活動報告

国際ソロプチミスト釧路アミティ（廣田曜江会長）は23日、ANAクラウンプラザホテルで行った8月通常例会の中で「これからもそれぞれの活動を頑張って」―という支援の心を添え、釧路市内の高校と大学合わせて5校に助成金を贈呈。それぞれの学校から1年間の活動報告を受けた。

釧路アミティが支援しているのは、Σ（シグマ）ソサエティとして釧路公立大ボランティアサークル、釧路高専科学ボランティア部の2校。Sクラブとして釧路東高校ボランティア局、釧路江南高校吹奏楽部、釧路湖陵高校合唱部の3校。助成金をそれぞれの学校の代表に手渡した廣田会長は「助成金はアミティフェスティバルの収益金で、市民の皆さんから寄せられたもの。これからの活動に生かしてほしい」と激励した。

引き続き行われた活動報告会では、釧路公立大はサークルに参加するボランティアを募集し、良い意味で楽しいボランティア活動を」、釧路高専は「アミティフェスタへの参加や遊学館などでの出前講座など、これからも楽しい活動を」、釧路東高校は「コミュニケーション能力を高めるためにも校外のボランティア活動に力を入れたい」、釧路江南高校は「吹奏楽の練習に励んでいきたい」、釧路湖陵高校は「今後も支援を受けていることに誇りを持ち、いろいろとチャレンジしたい」と抱負を述べた。

（伊東義昭）

支援する5校の代表に助成金を手渡した廣田会長（右から3人目）